

各 位

会 社 名 三光合成株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 黒田健宗  
 (JASDAQ・コード 7888)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 廣川修悦  
 (TEL. 0763-52-7105)

平成21年5月期 第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異、平成21年5月期  
 通期(連結・個別)業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成21年5月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績について、平成20年10月10日に公表した業績予想との差異が発生し、また平成21年5月期通期(連結・個別)の業績について、最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成21年5月期第2四半期累計期間において特別損失の発生がありましたので、お知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成21年5月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異(平成20年6月1日～平成20年11月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	25,500	50	△50	△100	△4.77
今回修正(B)	24,651	△133	△272	△471	△22.53
増減額(B-A)	△848	△183	△222	△371	
増減率(%)	△3.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年5月期第2四半期)	26,216	280	152	△73	△3.49

平成21年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	51,000	400	200	100	4.77
今回修正予想(B)	43,000	△500	△700	△900	△42.97
増減額(B-A)	△8,000	△900	△900	△1,000	
増減率(%)	△15.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年5月期)	52,835	731	571	145	6.96

平成 21 年 5 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想との差異（平成 20 年 6 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,100	△290	△190	△200	△9.54
今回修正 (B)	11,519	△223	△140	△318	△15.21
増減額 (B-A)	419	66	49	△118	
増減率 (%)	3.8	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 5 月期第 2 四半期)	12,730	△37	86	△305	△14.56

平成 21 年 5 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,500	△250	△200	△250	△11.93
今回修正予想 (B)	22,500	△450	△420	△630	△30.08
増減額 (B-A)	△1,000	△200	△220	△380	
増減率 (%)	△4.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 5 月期)	25,605	△76	225	△330	△15.78

予想との差異、修正の理由及び特別損失の内容

1. 第 2 四半期の連結業績予想との差異

売上高につきましては、アジアでの車両用部品の市場が縮小したこと及び為替が平成 20 年 10 月下旬以降想定を上回る円高で推移し、当初予想比較 8 億 48 百万円減の 246 億 51 百万円となりました。

利益面につきましては、タイの子会社において、新規受注の車両用部品の生産立ち上げ費用の増加とタイ・インドネシアにおける車両用部品の市場縮小による減収が影響し営業損失は 1 億 33 百万円、経常損失は 2 億 72 百万円、四半期純損失は特別損失に急激な円高による外貨建て債権の評価替えに伴う為替差損 1 億 92 百万円を計上したことにより 4 億 71 百万円となりました。

2. 通期の連結業績予想の修正

第 2 四半期会計期間の動向等をふまえ、今下半期は国内・アジア・欧米での車両用部品の市場が急速に縮小することが予想され、売上高は 430 億円、営業損失は 5 億円、経常損失は 7 億円、当期純損失は 9 億円となる見込です。なお、前提となる為替レートは 1 米ドル 95 円、1 ユーロ 125 円、1 パーツ 2.8 円と見込んでおります。

3. 第 2 四半期の個別業績予想との差異

売上高につきましては、車両用部品は落ち込みましたが、OA 機器用消耗部品及び金型の増収により 115 億 19 百万円、営業損失は 2 億 23 百万円、経常損失は 1 億 40 百万円、四半期純損失は特別損失に為替差損 1 億 50 百万円を計上し 3 億 18 百万円となりました。

4. 通期の個別業績予想の修正

第 2 四半期会計期間の動向等をふまえ、今下半期は車両用部品の市場が急速に縮小することが予想され、売上高は 225 億円、営業損失は 4 億 50 百万円、経常損失は 4 億 20 百万円、当期純損失は 6 億 30 百万円となる見込です。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は今後の要因により予想数値とは異なる場合があります。

以 上